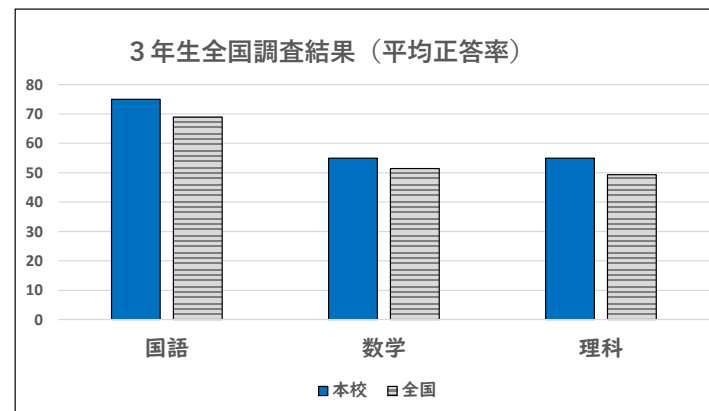
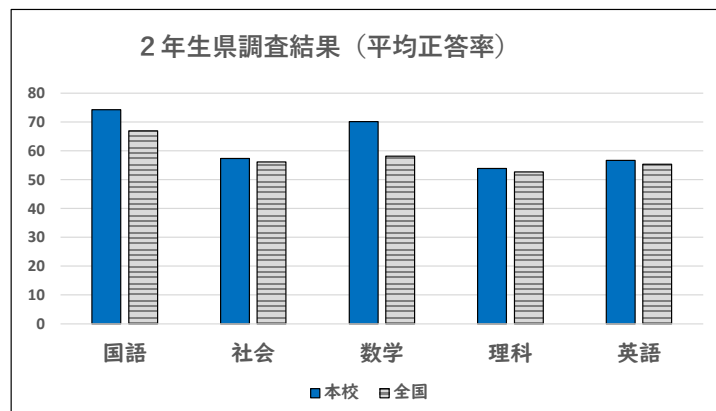


学力調査結果の分析と今後の対策

大分県学力定着状況調査（2年生対象）ならびに全国学力・学習状況調査（3年生対象）の結果分析と今後の対策についてお知らせします。



○結果の概要

平均正答率は5教科すべてにおいて全国平均を上回っています。1月に実施した宇佐市調査では活用問題に課題が見られましたが、今回全教科で改善が見られます。

○分析と今後の対策（各授業担当より）

（国）漢字の小テストなどの日常的な取組が成果につながったと考えます。

引き続き日常的な積み重ねを大切にしていきます。

（社）「中世の日本」の分野に苦手の傾向が見られます。家庭学習との連動を図った授業づくりを進めていきます。

（数）課題のプリントなどに丁寧に取り組めた生徒が多く、力がついてきています。今後は数学的に説明する力をつけていきます。

（理）論理的思考を要する水溶液の問題に課題が見えます。2学期以降、授業の中で根拠をもとに説明する場面を設定していきます。

（英）文の読み取りや英作文に課題が見えます。2学期以降は個人のつまずきに応じた添削指導をICTを活用しながら進めていきます。

○結果の概要

平均正答率は実施した3教科すべてにおいて全国平均を上回っています。

1月に実施した宇佐市調査では国語の活用に課題が見られましたが、今回大きく向上しています。

○分析と今後の対策（各授業担当より）

（国）「読む」ことについてはかなり力をつけています。知識技能の習得に課題が見られますので聞き取り練習やプレゼンなど発表の場を設定していきます。

（数）図形の問題に課題が見られます。今後はiPadを活用し、事象の変化を視覚的に捉えられるような授業を進めていきます。

（理）「共通点」や「相違点」を捉えて分析する問題に課題が見られます。今後は授業の中で「自分でじっくり考える」⇒「考えを交流する」時間を設定していきます。